

令和4年度第1回市長定例記者会見

市長あいさつ及び説明要旨

令和4年6月3日

皆さま、おはようございます。報道各社の皆さまにおかれましては、大変お忙しいところ、定例記者会見にお集まりいただき誠にありがとうございます。

また、平素から本市の施策推進に多大なご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症についてであります。

本市においても、連日、感染者が確認されておりますが、市民の皆さまのご協力や医療関係者の皆さまのご尽力により、大規模な感染拡大に至っておりません。

今後も、不織布マスクの適切な着用、手洗い、消毒など、感染予防対策の継続をお願いいたします。

ワクチン接種につきましては、市民の皆さまのご理解と新見医師会などのご協力により、順調に接種が進んでおり、4回目の接種につきましても、60歳以上の人や、18歳以上60歳未満で基礎疾患を有する人などのうち、前回接種から5カ月以上が経過した人に、5月24日から接種券を順次発送し、5月25日から接種を開始しております。

自らの重症化を防ぐため、また、ワクチンを接種することができない人を守るためにも、引き続き、接種のご検討をよろしくお願いいたします。

それでは、本日の記者会見での発表事項についてご説明申し上げます。

まず、「DX推進アドバイザー活用事業」についてであります。

これは、社会全体のデジタル化が進展する中、「新見市DX推進方針」に基づく各種施策を効果的に推進するため、デジタル技術に精通し、高い専門的知識や経験を有した人材を「新見市DX推進アドバイザー」として登用するものです。

DXを強力に、そしてスピード感をもって進めるために、今回のアドバイザーには、本市の現状把握・分析のほか、研修やセミナーなどの実施を通じ、職員の意識改革とDX推進に関する全庁的なサポートを行っていただきたいと考えております。

今後、「行政事務の効率化」「暮らしの利便性の向上」「地域課題の解決や新たな価値の創出」の3つの基本方針に基づき、デジタル技術を活用した各種施策を全庁挙げて実施してまいりたいと考えております。

次に、「ふるさと納税促進事業における令和3年度寄附実績」についてであります。まず、全国の皆さまから心温まるご支援をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。

昨年度は本市の魅力発信や広報を強化したことにより、令和2年度に比べ、寄附件数・金額ともに大きく増加し、3,222件、6,600万円を超えるご寄附をいただきました。今年度はさらなる増加を図るため、ポータルサイトを追加するなど広報をより一層強化し、寄附金総額1億円以上を目指してまいります。

このほか、今議会に、条例3件、予算2件、その他2件を提案いたします。そのうち、令和4年度一般会計補正予算は、住民税非課税世帯等臨時特別給付事業や子育て世帯生活支援特別給付事業など、合計で2億1,403万円を計上しております。

この度の発表事項は以上であります。新年度に入ってから2カ月が経過し、行政需要や課題解決に向けた取組を着実に進めております。既に情報提供しているものもございますが、改めてこの場を借りてご報告したいと思います。

まず、「にーみん食ーぽん」および「プレミアムにーみん食ーぽん」についてであります。利用期限を1月31日までとしておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染状況悪化に伴い、利用できず保管されていた人のために、6月1日から7月31日までを利用期間として、再開しておりますので、この機会にご利用ください。

次に「住民票の写し等コンビニ交付事業」についてであります。一昨日の6月1日から、全国のコンビニエンスストアなどで、マイナンバーカードを利用して、住民票の写しと印鑑登録証明書を取得することが可能になりました。このサービスの開始により、市民の皆さまの利便性が向上するものと考えますので、ぜひご利用ください。

また国においては、令和4年度末までに国民のほぼ全員がマイナンバーカードを保有することを目標としており、本市においても、マイナンバーカードのさらなる普及に努めてまいります。本市職員につきまして

は、96%を超える取得率となっております。

次に、「新見市成人式」について申し上げます。本年4月1日から成年年齢が18歳に引き下げられたことに伴い、本市においても、成人式のあり方について検討してまいりましたが、対象者をこれまでと同様に20歳を迎えた皆さんとし、開催することといたしました。

詳細は今後、実行委員会で決定する運びとなりますが、20歳という人生の大切な節目として、新たな門出をお祝いしたいと思っております。

次に、新たな「新見市防災マップ」についてであります。市報にいま6月号の発送に併せて、各ご家庭にお配りしたところでございます。

これから梅雨シーズンに入り、本格的な出水期を迎えます。ご家族などの大切な命や財産を守るため、この防災マップを皆さまの身近に置いていただき、緊急時に備え、日ごろから家族や近所の人たちと避難場所や危険箇所などを事前に確認するなど、ご活用いただきますようお願いいたします。

新見駅周辺のまちづくりにつきましては、先般、新見駅周辺まちづくり検討委員会からご報告いただいた基本構想（案）を基に「新見駅周辺まちづくり基本構想」を、できるだけ早い時期に策定したいと考えております。

今後、まちづくりの推進体制の構築や各施策について検討を進め、将来にわたる持続可能なまちづくりを推進してまいりたいと考えております。

また、ウクライナに対するロシアの軍事侵攻が続き、子どもたちを含む多くの人たちが犠牲となっております。これは、国際社会の平和と秩序、安全を脅かすものであり、断じて容認できるものではありません。

ウクライナの人々を支援するために、市役所本庁舎、南庁舎及び各支局に募金箱を9月末まで設置いたしております。

皆さまからお預かりしました支援金は、5月31日までに40万1,319円となりました。皆さまの温かいご支援に心からお礼申し上げますとともに、引き続きご協力をお願い申し上げます。

一日も早く平和な世界が訪れることを切に願っております。

私からは以上でございます。